

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介致します



合田 直弘

5月5日にチャーチルダウンズ競馬場で行われた開催の、第3レースに組まれていた条件戦(d8.5F)で、管理馬ルッキーナットリー(牡4)が勝利を收め、開業以来の通算勝ち星が8000に到達したステイー・アスマッセンが、今月のこのコラムの主役だ。

1965年11月18日、サウスダコタ州のゲットイースバーグで生まれたステイー・ヴィ。騎手を引退したばかりだった父キースと、クオーター・ホースの調教師として活躍していた母マリリンの、次男として生まれた。ちなみに兄は、主にヨーロッパで騎手として大活躍したキャッシュ・アスマッセンである。

ステイー・ヴィが2歳の頃に、一家はテキサスのフレドに移り住み、エルプリメロ・トレーニングセンターを開設。ステイー・ヴィ少年は5歳の頃から厩舎作業に精を出すことになった。

身長が6フィート(183cm)を越えている現在の当人からは想像もつかないが、ステイー・ヴィは16歳の時に騎手免許をとり、見習いとして騎乗を始めている。ユーメキシコを中心足かけ3年にわたって騎乗し、通算で63勝を挙げたが、いよいよ体重調整が困難になつて騎手の道を断念。その後2年の準備期間を経て、86年に自らの厩舎を開業した。

開業翌年に、スカウトコマンドでバーミンガムのベッセマーを制し、特別初制覇。コ

ラムの主役だ。

1965年11月18日、サウスダコタ州のゲットイースバーグで生まれたステイー・ヴィ。騎手を引退したばかりだった父キースと、クオーター・ホースの調教師として活躍していた母マリリンの、次男として生まれた。ちなみに兄は、主にヨーロッパで騎手として大活躍したキャッシュ・アスマッセンである。

ステイー・ヴィが2歳の頃に、一家はテキサスのフレドに移り住み、エルプリメロ・トレーニングセンターを開設。ステイー・ヴィ少年は5歳の頃から厩舎作業に精を出すことになった。

身長が6フィート(183cm)を越えている現在の当人からは想像もつかないが、ステイー・ヴィは16歳の時に騎手免許をとり、見習いとして騎乗を始めている。ユーメキシコを中心足かけ3年にわたって騎乗し、通算で63勝を挙げたが、いよいよ体重調整が困難になつて騎手の道を断念。その後2年の準備期間を経て、86年に自らの厩舎を開業した。

開業翌年に、スカウトコマンドでバーミンガムのベッセマーを制し、特別初制覇。コ

ラムの主役だ。

初めて手掛けたトップホースが、95年から97年にかけてG3スピートページHなど重賞を含む7つの特別を制したヴァリッドエクスペクテーションズで、99年にドリームスガローラでG1マザーゲースSを制しG1初制覇を果している。

02年に年間407勝を挙げて、全米リーディングの勝ち星部門で初めて首位に立った彼は、04年には年間555勝を挙げ、ジャック・ヴァン・バーグが76年に作った496勝を破つて、調教師による年間最多勝利記録を樹立。その後、08年には621勝、09年には650勝と、2度にわたりて自らの記録を更新している。

07年と08年には管理馬カーリングが、09年には管理馬レイチエルアレグザンドラが年度代表馬となり、調教師として3年連続で年度代表馬を手掛けるという快挙を達成。また08年、09年には、エクリップス賞最優秀調教師に選出されている。そして17年にはガランナーニーが、管理馬として3頭目の年度代表馬となつた。

ステイー・ヴィのキャリアにはダークサイドもある。彼が殿堂入りの候補に名前を連ねた14年、P.E.T.E.という動物愛護団体ねた14年、P.E.T.E.という動物愛護団体が、サイロキシンと呼ばれる甲状腺ホルモンを飼い葉に混ぜて与えているのは、違法であるし動物虐待でもあるとして、ステイー・ヴィを告発。2年間にわたる検査の末、違法な投与が過去に4度あつたことが確認され、ステイー・ヴィは1万ドルの罰金を

課せられたのである。

調査が行われていた2年間、彼の殿堂入りも保留の状態となっていたが、この件が決着した16年に競馬殿堂入りを果たしている。

ステイー・ヴィには大きな目標が2つある。さて、通算勝ち星が8千に到達した今、ステイー・ヴィには大きな目標が2つある。

1つは、既に射程圏に入っている、デイル・ベアードが持つ歴代最多勝記録の9445勝を破ることだ。過去5年の年間平均勝利数が310勝のステイー・ヴィは、このペースを維持すれば5年以内に新記録樹立となる。現在52歳の彼にすれば1万勝達成も、さほど難しいことではないはずだ。

もう1つの目標は、ケンタッキー・ダービー制覇である。8000勝を達成した、5月5日にチャーチルダウンズ競馬場で行われた開催とは、まさしくケンタッキー・ダービーで、ステイー・ヴィも管理馬コンバタント(牡3、父スキヤットダービー)を出走させたのだが、18着に大敗していた。ブリーフネスSも、ベルモントSも、BCクラシックも、さらにはドバイワールドCも制しているステイー・ヴィだが、ケンタッキー・ダービーだけはこれまで縁がないのである。

1万勝とダービー制覇のどちらを先に達成するか、ステイー・ヴィ・アスマッセンの今後に注目したい。